

武道・スポーツ科学研究所年報 第4号・平成10年度・目次

I. 平成10年度（1998.4～1999.3）のプロジェクト研究

A 武道・スポーツ文化研究部門

1. 武道文化に関する研究	(1)220
1) 武道関係実地調査研究	
(1) 円明流伝書『兵道鏡』の問題	
●魚住 孝至	(1)220
2) 近世武道文化の研究	
(1) 『兵道鏡』—若き武蔵の術理	
●魚住 孝至	(13)208
3) 夏、商、周時代における武術形態と武士文化に関する研究	
●林 伯原	161
2. 武道データベース化の研究	1
1) 剣道用語のデータベース化の研究	
—基本動作（1. 鍔ぜり合い 2. 切り返し）—	
●大矢 稔、高橋 守、小水哲人、アルフレッド・ウォーカー、 トレバー・モーリー	1
3. スポーツ文化に関する研究	5
1) 生涯スポーツ関連行動の実態・動向についての研究	
—生涯スポーツ関連の指導者の養成を中心に—	
●北條明美、篠田基行、酒井 誠、中島一郎、土居陽治郎、 黒川道子、中西 純	5

B 運動健康科学研究部門

1. 伝統的健康論における運動と健康生活に関する研究	15
1) 東洋的行法に関する基礎的研究	
(1) 近代日本の代替療法の動向	
●田邊信太郎	15
(2) 中国古典に呼吸法の源流を探る	
●石塚正一	21

(3) 低酸素環境を利用した呼吸法の効果の解明 — 真向法および慢性呼吸不全患者が行う腹式呼吸体操 を対象として — ●山本正嘉	27
2. 健康に及ぼす運動の影響の研究 —————	33
1) 発育期の運動習慣がそれ以降の時期における運動機能にどのような影響を 与えているか — 組織重量及び骨格筋代謝特性との関係 — ●小林啓三、成澤三雄、猪股俊二、関 和彦、刈谷文彦、朱 容仁、 春日規克、湊久美子	33
2) スポーツ傷害発生に関わる身体的・心理社会的要因について ●小西由里子、山本利春、中村 豊、有賀誠司、宮崎善幸、 冠木佳子、熊野宏昭	49
C スポーツ科学研究部門	
1. 武道・スポーツにおける運動機能の効率的な評価方法に関する研究 —————	71
1) スキル指導の研究；初心者球技における言語指示 ●大道 等	71
2) ダンスにおけるスキルと体力の向上に関する基礎研究 — 舞踊鑑賞におけるあいまいさに関する一考察 — ●佐藤みどり	85
3) ボールゲームにおける試合の流れを客観的に捉える試み（第2報） — 最終得点の予測を用いて — ●清水宣雄、奥山秀雄	93
2. 体力の評価方法に関する研究 —————	99
1) スポーツ選手における「素早い動き」の評価法の検討(2) — 選択反応式踏み込みテストの開発 — ●山本利春、西林和彦、湯田一弘、徳永文利	99
2) 体幹筋力（腹筋力、背筋力）の測定・評価法に関する検討 ●山本利春、吉田高教、井上哲朗、山本正嘉	107
3) 球技選手の体力およびスキルに与えるウェイト・トレーニングの効果 — 大学生男子バスケットボール選手における2年間の追跡調査から — ●奥山秀雄、安ヶ平浩、岩井美樹、徳永文利、湯田一弘、青木浩司、 金子博昭	113

3. 脳の機能の評価方法に関する研究	125
1) 筋活動様式の変化にともなうヒト大脳皮質脊髄路細胞の興奮性の長期的変化 —ギプス固定に伴う皮質マップの変化—	
● 関 和彦、谷口有子、成澤三雄、木塚朝博	125
2) トレーニングが運動中の大脳皮質活動に及ぼす効果の評価に関する研究 —II. 右および左視野刺激時の両側性および一側性反応時間—	
● 谷口有子、関 和彦	133
3) 運動と知覚の関係に関する実験心理学的研究 —運動によって誘発された刺激に対する反応時間(3)—	
● 川津茂生、谷口有子、関 和彦	143
4. 内分泌機能からみた運動機能の評価方法に関する研究	147
1) 競技別生化学・内分泌学的検査データプロフィールの検討(3)	
● 高橋正人、山本利春、小西由里子	147
2) 蛋白同化ステロイドを投与して運動を行った際の健康に及ぼす影響	
● 河野俊彦、高橋正人、立木幸敏	153
平成9年度運動健康科学研究部門・健康に及ぼす運動の影響の研究 レクリエーション活動(GSD)が生理学的機能に及ぼす効果に関する研究 —中・高齢者に焦点をあて—	
● 中島一郎、猪股俊二、北條明美、山本正嘉、谷口有子、 中西 純、黒川道子	181
II. 武道・スポーツ科学研究所を活用しての行事	221